

MATERIAL REVOLUTION

THE FIRST
ENGINEER
JSW



www.jsw.co.jp



「Material Revolution」の力で世界を持続可能で豊かにする。

日本製鋼所は、その創業のときから、時代の求める新たな素材の開発とその社会への提供、
即ち『Material Revolution (材料革命)』を通じ、社会課題の解決に貢献し続けています。

溶かす技術

混ぜる技術

固める技術



機械要素技術

精密制御技術



ものづくり(製造)技術

Material Revolution

時代の求める素材を開発し、それを社会実装する

1907(明治40)年、日本製鋼所は「鋼」作りからスタートしました。
当時の社会が求めていたもの、それは優良な「鋼」でした。日本が産
業技術の向上を図り、欧米に追い付こうと国を挙げて努力していた
時代に求められていた普遍的な価値が、「鋼」であったのです。当時
変わらないと思われていたその価値は、明治、大正、昭和、平成、令
和と移り、創業から120年を迎えようとしているこの時代に大きく変
わってきています。

「自然資本」の価値が重視され、気候変動リスクを回避するた
めに、より軽量で環境負荷が低い素材が求められています。当社は、
戦後いち早く軽量素材である「プラスチック」に着目し、プラスチック
用の各種の製造装置を世に出しました。今、世界はカーボンニュ
ートラルを目指し、さらに軽量、高機能で省エネ性に優れた新たな素材
を必要としています。

一方で、廃棄プラスチックによる海洋汚染は大きな社会問題であ
り、その解決に向けて、廃棄プラスチックを活用した循環型社会の実
現も世界共通の課題です。

当社は、新素材とその社会実装のための産業機械を開発し、
『Material Revolution (材料革命)』を通じて社会課題を解決す
る「価値」を提供し続け、持続可能な豊かな社会の実現に貢献して
まいります。

今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社日本製鋼所 代表取締役社長 松尾敏夫

独自の価値づくり・ものづくりを通して産業の発展に貢献し、 便利で快適な暮らしを根底で支えています。

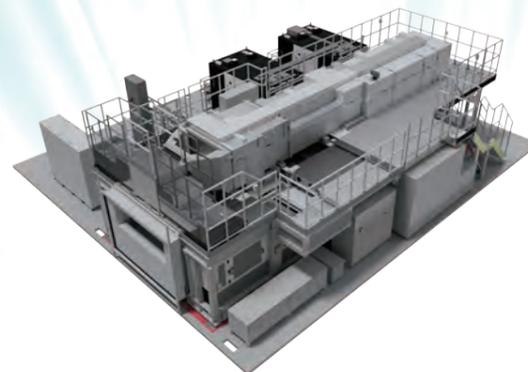
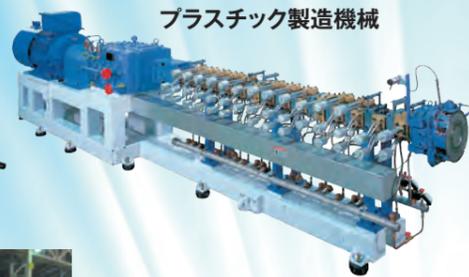
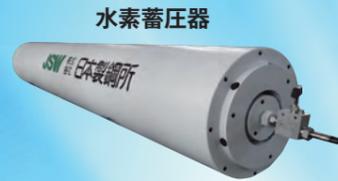
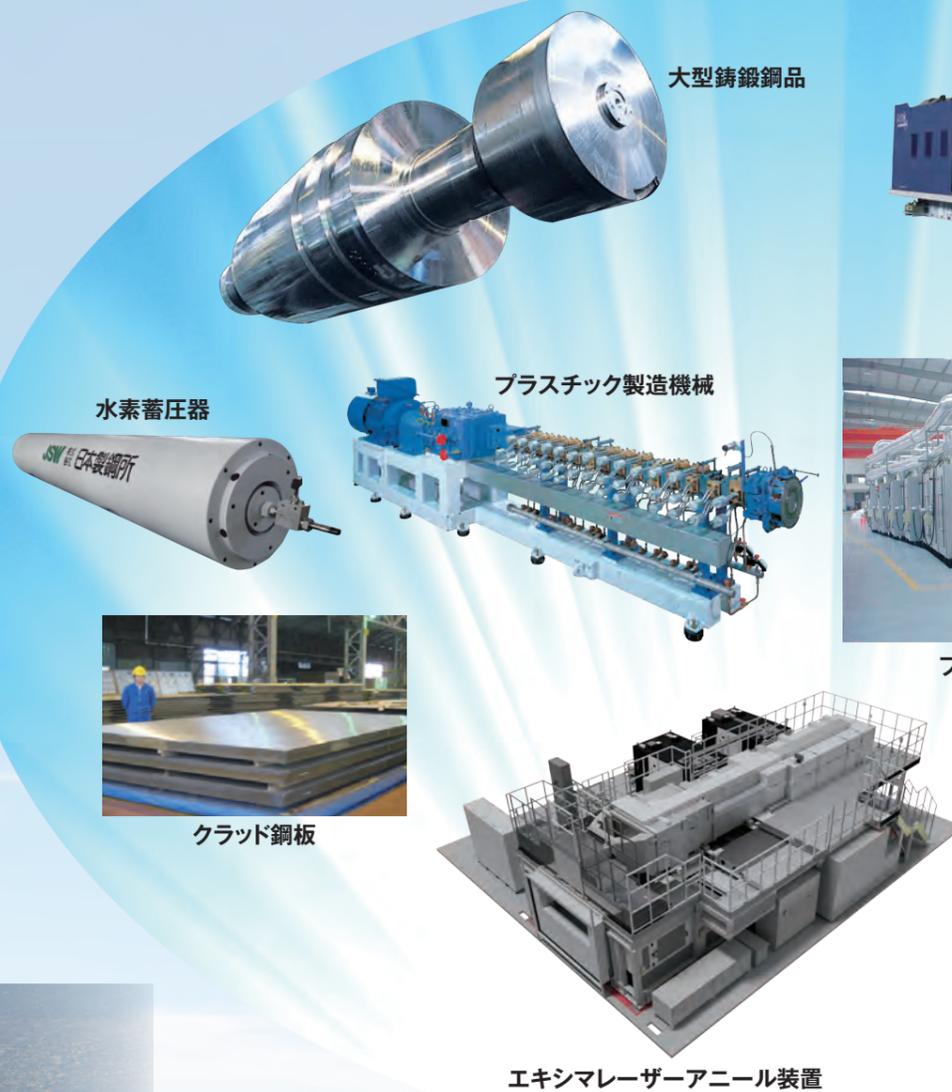
私たちJSWは、常に時代のニーズに応え、独自の技術を駆使して高機能素材や各種製造装置などを世に送り出してきました。これからも、環境対応など新たな付加価値を創造しながら、さらなる未来へと続く社会と産業の発展に貢献していきます。

■主要製品と事業領域

Energy

エネルギー

- EV用バッテリー部品
- 発電プラント機器
- 石油精製機器
- 天然ガス生産・輸送機器
- ソーラーパネル素材



Transportation

交通・輸送

- 自動車部品/素材
- 鉄道車両部品/素材
- 航空機部材



IT/Telecommunications

IT・通信

- IT製品/製造装置
- 半導体素材/半導体製造装置



BUSINESS DOMAIN

01

樹脂機械事業

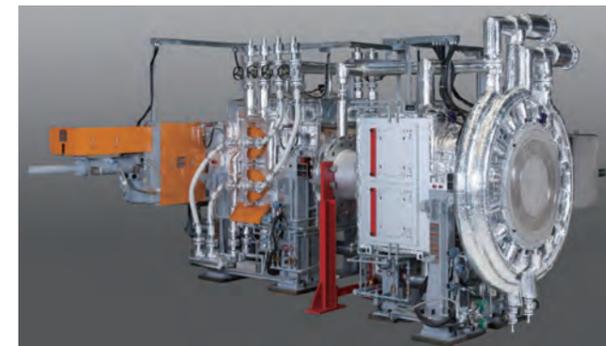
Plastic Machinery Business

世界で唯一の総合樹脂機械メーカーとして、豊富な経験と実績をもとに石油化学産業の上流から下流まで幅広い領域で、社会の発展に貢献しています。

■ プラスチックを活用した便利で快適な生活を見えないところで支えています

蓄積してきた独自の技術とノウハウで産業界のさまざまなニーズに対応します

樹脂機械事業では、樹脂製造・加工機械（造粒機、二軸混練押出機、フィルム・シート製造装置など）の製造・販売・保守サービスを行っています。当社の機械・装置で生産された製品は、5G対応のスマートフォン、パソコン、タブレット端末、キーボードなどのIT製品、コンデンサー、半導体製品などの電子材料、家電製品、リチウムイオン電池、自動車部品、食品包装フィルム・容器、カテーテルなどの医療器具など、さまざまな製品に使われています。



大型造粒機

カーボンニュートラル社会の実現に向けて

2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、軽量化による自動車の低燃費化、EV化による化石燃料の電池置き換え（脱炭素化）、各種プラスチックリサイクル関連技術のニーズが高まっており、プラスチック加工機械市場はますます拡大することが見込まれます。業界のリーダーとして、社会により貢献できるプラスチック加工機械の技術開発とともに、プラスチックのリサイクル技術開発にも積極的に取り組み、地球環境を守りながら、プラスチックと共生できる社会を目指します。



フィルムが巻き取られる様子



フィルム・シート製造装置

TOPICS 二軸混練押出機でケミカルリサイクル技術を確立

当社は、循環型のリサイクルを目指し、二軸混練押出機を用いて使用済みのアクリル樹脂を熱分解して原料として再生するケミカルリサイクル技術を確立しました。この技術で再生したアクリル樹脂は、新しく製造したものと同等の基本物性（透明性・強度など）を実現しています。

ケミカルリサイクル技術を社会に幅広く提供することにより、これまでは廃棄されていたプラスチックを原料として生まれ変わらせることが可能になり、環境にやさしいサーキュラーエコノミー社会を実現します。

当社の二軸混練押出機は、これまで、メカニカルリサイクル（マテリアルリサイクル）・サーマルリカバリー（サーマルリサイクル）でも実績がありますが、今後はアクリル樹脂以外へのケミカルリサイクル技術の利用拡大が見込まれます。このニーズに応えるため、2022年に広島製作所内にケミカルリサイクル技術開発センターを開設し、お客様へのソリューション提案及び技術サポートを行っています。



成形機事業

Molding Machine Business



私たちの暮らしに欠かせないプラスチック製品を製造する「プラスチック射出成形機」と「中空成形機」、リサイクル性にも優れたマグネシウム合金を成形する「マグネシウム射出成形機」を世界中に提供しています。

■ カーボンニュートラル社会に向けて高まる需要に 製品力・提案力・サービス力で対応します

■ 家電、自動車、日用品・容器分野を軸に 幅広いプラスチック射出成形機をラインアップ

小型機から超大型機、多色・多材質成形や超精密成形用の特殊仕様機など、幅広くラインアップし、世界中で活躍しています。また、成形機の電動サーボモーター駆動や電源回生などの省エネ技術、発泡成形などの材料削減技術、IoTを活用した生産の効率化などでカーボンニュートラルに貢献します。



プラスチック射出成形機

■ 持続可能な社会に向け 期待が高まるマグネシウム射出成形機にも注力

当社の「マグネシウム射出成形機」は、THIXOMOLDING™技術を採用しており、従来の工法よりもクリーン・省エネ・高精度での成形が可能です。マグネシウムの持つ、軽くて強いといった優れた特性を活かし、自動車部品への適用拡大などでカーボンニュートラルに向けた社会のニーズに応えていきます。



マグネシウム射出成形機

■ JSWグループは、小型容器から大型多層容器まで 中空成形に関するあらゆるニーズに対応

自動車の燃料タンクや工業用の容器などに使われる中・大型機から、化粧品・日用品向けの小型機まで、中空成形に関するあらゆるニーズに対応しています。



中空成形機

TOPICS | スマートファクトリー化を実現し生産性向上に大きく貢献

2020年4月から販売を開始している「J-WiSe®」は、お客様の工場のスマートファクトリー化をサポートする当社のIoTソリューションの総称です。「生産管理」「運転支援」「サービス・保全」「生産自動化システム」の4つのフィールドでシステム・サービスを提供し、お客様の工場の生産性向上に貢献します。今後は成形機製品にとどまらず、二軸混練押出機など当社の産業機械製品全般に適用を拡大していく予定です。



J-WiSe® : JSW Worldwide IoT Solutions of Enhancement

BUSINESS DOMAIN

03

産業機械事業

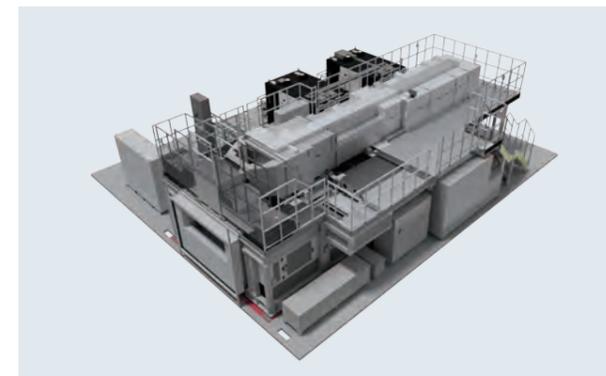
Industrial Machinery Business

半導体やディスプレイ、また電子部品の生産に使用される電子デバイス関連装置、経済インフラを支える鉄道関連製品など、産業機械製品の製造・販売・アフターサービスを行っています。

■ 5Gや自動運転技術など、社会の進歩に欠かせない電子デバイスの進化を最先端の製造装置で支えています

最先端ディスプレイの高品質化と生産効率向上を支えます

スマートフォンやタブレット、パソコンなどのディスプレイは年々進化を続け、画像はより鮮やかな色彩で、また映像はより滑らかな動きで再現されるようになってきました。これを支えているのが、フラットパネルディスプレイの高精細化に欠かせないレーザーアニール装置です。また、スマートフォン、ウェアラブル端末への適用が進むフレキシブルディスプレイの生産には、当社のレーザー剥離装置、フィルムカッティング装置が活かされています。



エキシマレーザーアニール装置

自動車の進化や情報通信技術の進歩を製造面からサポート

アクティブセーフティやコネクテッドカーなどのニーズの高まりを受け、自動車に搭載される電子機器が増えてきています。そのほか、IT機器や産業ロボットなどにも高度の電子機器が必要とされており、これらに使われているプリント配線板の製造に、当社のホットプレスと真空ラミネータが活躍しています。



ホットプレス

情報通信インフラを支える光通信などの光源や自動車の自動運転用の障害物センシング、3Dプリンターなどレーザーの用途が広がっています。高出力、高効率な半導体レーザーの製造には高品質の成膜技術が求められ、当社のECRプラズマ成膜装置が用いられています。この成膜技術は、スマートフォンやIoTデバイスの通信に用いられる高周波フィルターの製造にも貢献しています。



ECRプラズマ成膜装置

TOPICS 真空・加圧式電動3ステージラミネータ

当社の真空ラミネータは、プリント配線板や半導体パッケージ基板の製造において、電子回路基板とドライフィルムを積層する工程で使用されます。IoT、AI、自動運転技術などの最新技術には、高密度配線による高度な電子回路基板などのハードウェアの開発製造が欠かせません。そのニーズに応えるための新たな機種として、真空・加圧式電動3ステージラミネータ「MVLP-3ST-αX」を2023年度に上市しました。また、当社の名機製作所（愛知県大府市）構内には、新たにテクニカルセンターを開設し、新たな技術をお客様と共に考え、開発を支援しております。



新型真空ラミネータ (MVLP-3ST-αX) 外観

防衛関係事業

Ordnance Business

1907年(明治40年)に兵器の国産化を目的として創業した当社のルーツであり、我が国における火砲システムのリーディングカンパニーとして各種の防衛製品を製造しています。

創業から続く、安心・安全を守るものづくり

創業時から培ってきた素材・機械製造技術を基に、先端技術を開発・適用し、防衛省・海上保安庁向けのさまざまな防衛機器の製造、整備を行っています。
また、先進防衛システムに関する研究開発にも積極的に取り組み、今後も日本の平和と安全に寄与していきます。



62口径5インチ砲



19式装輪自走155mmリゅう弾砲

出典:自衛艦隊ホームページ <https://www.mod.go.jp/msdf/sf/news/08/0830-01.html>

新規事業

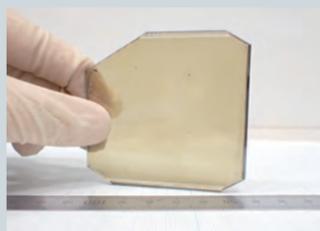
New Business

持続的な社会の実現のため、3つの新事業に注力し、社会の発展に貢献していきます。

フォトニクス事業

高速・大容量通信、省エネなどの実現に向けた単結晶材料の製造および各種技術開発

5GやIoT市場伸長、省電力などの課題解決ニーズの高まりに伴い、GaN(窒化ガリウム)、人工水晶、ニオブ酸リチウムという3種の高品位結晶材料と接合・成膜・改質などの高付加価値化を強みとした各種結晶基板などの製造・販売に取り組んでいます。GaN、人工水晶は、当社の大型鋳鍛鋼品の技術を活かした高温高圧オートクレーブで製造されます。



窒化ガリウム(GaN)結晶

複合材料事業

各種モビリティの軽量化・省エネ化に貢献すべく高機能複合材料の材料設計から成形加工、品質保証まで

航空機、自動車などの軽量化による燃費向上でCO₂削減に寄与するCFRP(炭素繊維強化プラスチック)製品を提供します。2017年に複合材料工場を竣工し、航空機用複合材製品の製造を開始。今後は、航空機構造部材向けの事業拡大を目指し、成形加工技術開発、材料設計技術習得および品質保証を含めた体制整備を進めています。



航空機向け部材

金属材料事業

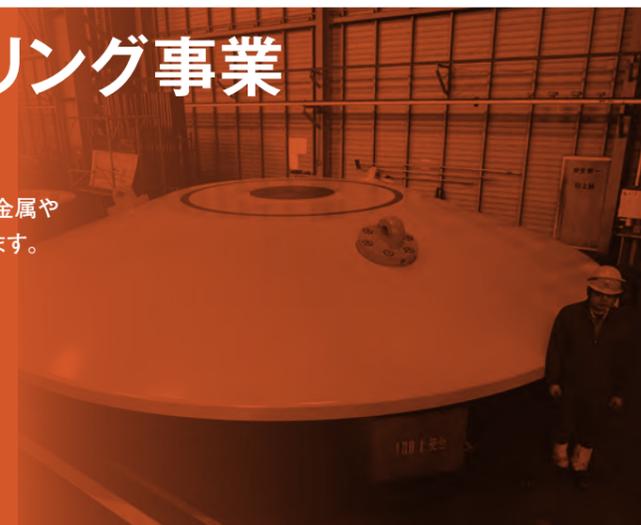
通信データトラフィックの加速度的増加に対応する高性能かつ高品質な金属製品を生産

IoT・5G化の進展による情報通信機器などの高機能化を実現する銅合金をはじめとした高機能金属材料を提供します。2019年にJX金属株式会社との合併会社である室蘭銅合金株式会社を設立し、最先端の技術を駆使して設計した、従来の設備を凌駕する新設備による商用生産を目指しています。

素形材・エンジニアリング事業

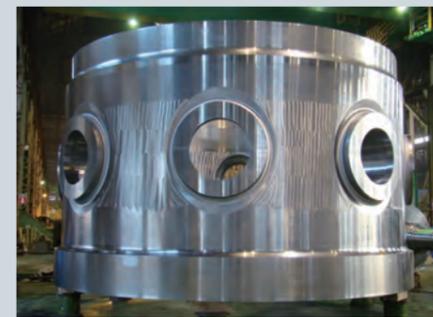
Materials & Engineering Products Business

百有余年にわたり培ってきた素形材の製造技術を活かし、ますます高度化・多様化するニーズに対応するため、鋼に非鉄金属や複合材料を加えたさまざまな部材(M:マテリアルズ)を提供します。また、幅広いソリューション技術(E:エンジニアリング)により、設計・製作・施工・設置から保守点検・解析評価・補修まで、ワンストップにて提供します。



M:マテリアルズ(鋳鍛鋼・クラッド鋼板)

JSW創業の地、室蘭を代表する大型鋳鍛鋼品は、発電所の重要部材として広く国内外で使用されています。これらの製品に求められるのは、絶対的な信頼性と安全性。当社は世界最大の670t鋼塊を造る技術力と、創業以来受け継ぎ進化させてきた材料開発技術を活かし、日々高度化し続けるエネルギー産業のニーズに応えています。その他の中・小型鍛鋼品や、異種材を接合した高機能材料であるクラッド鋼板も、エネルギー、自動車、産業機械、情報通信、電気・電子、食品など、多岐にわたる分野で利用され、人々の生活に欠かせない社会インフラの持続的な発展を支えています。



原子炉圧力容器部材

E:エンジニアリング(設計・製作・施工・設置から保守点検・解析評価・補修)

エンジニアリングサービス部門は、当社の石油精製・石油化学プラント用圧力容器、各種産業機械の豊富な製造実績をもとに、保守や解析評価など、お客様の課題にソリューションとサービスを提供しています。また、一貫した製造体制のもと、橋梁部材や産業用溶接構造品といった社会インフラ向けの製品を製造しています。さらに、お客様のものづくりを支援する設計・解析や施工管理のほか、一般的な非破壊検査から独自に開発した特殊検査技術・調査まで、幅広いサービスを提供しています。



産業用溶接構造物

MとEのチカラで持続可能な社会実現に向け貢献

社会インフラや各種のプラントなど、厳しい使用環境向けの機器を製造することで長年培ってきた、M=マテリアルズとE=エンジニアリングの固有技術を、カーボンニュートラルなど、社会の新しいニーズに活かしています。例えば、洋上風力発電機の設置に使われる杭打設置装置や定置型蓄電池の中核部材といった再生エネルギー分野、低熱膨張合金などの電気・電子分野、水素蓄圧器や水素吸蔵合金タンクなどの水素インフラ分野において、当社独自の製品・サービスを提供しています。今後も、当社が持つMとEのリソースを活用して新しい付加価値を生み出し、常に新しい製品・サービスで社会に貢献し続けていきます。



100MPa水素蓄圧器

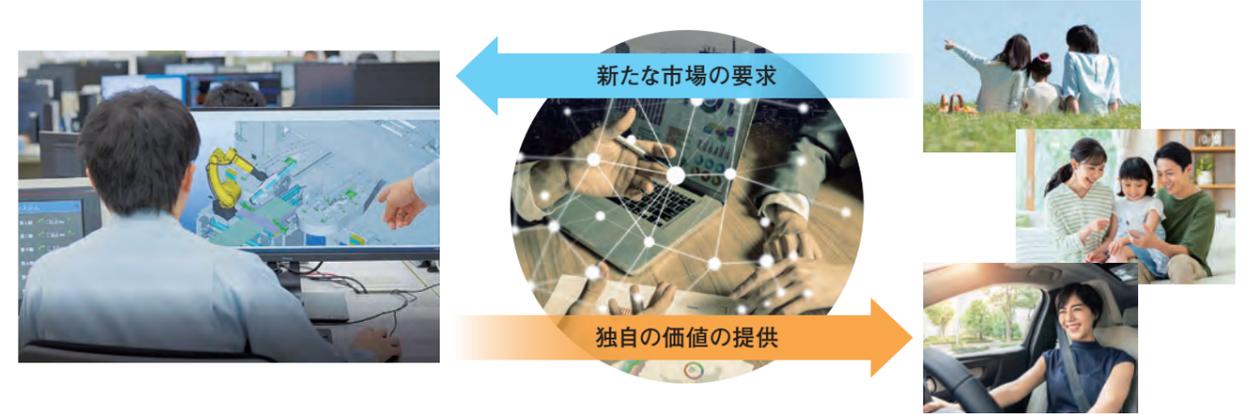
ものづくりの一貫体制と将来を見据える先見力とで 時代が求める素材を生み出し社会に広げていく

日本製鋼所の創業の目的は、それまで輸入に頼っていた高度な兵器の国産化でした。そのために必要とされたのは、機械装置の設計・制御技術、機械に使用される素材の設計・開発技術、そしてそれらを実現する製造技術です。創業から100有余年、社会は大きく変わり、求められる価値も移り変わってきました。私たちは、自社の持つ独創・固有技術を進化させると同時に、お客様と共に技術的イノベーションを実現することで、常に最新の技術を社会に実装し続けています。なかでも、溶かし、混ぜ、そして固めることで新たな素材を生み出す技術は、私たちの産業機械事業、素形材事業、そして新たな事業を生み出すコアとなっています。例えば、日々の生活に欠かせない素材となっているプラスチック。そのさまざまな用途に応じた機能や形を与えるために、溶かし、混ぜ、固めるというプロセスが必要です。ここでも、日本製鋼所の独創・固有技術が活かされ、便利で豊かな社会の実現に貢献しています。

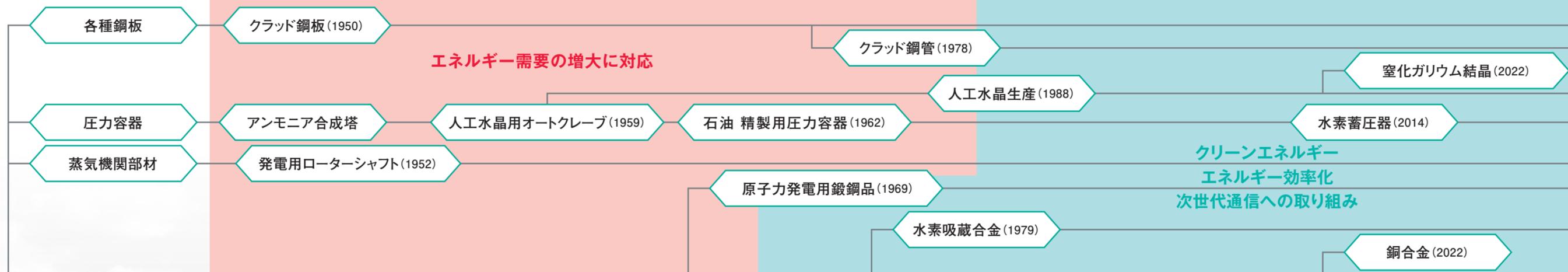


国産初の制式航空機エンジンを製造(陸軍、大正7年)

自分でつくるからわかる、つくりこむから進化する独創技術が、
社会への新しい技術の実装につながっています。

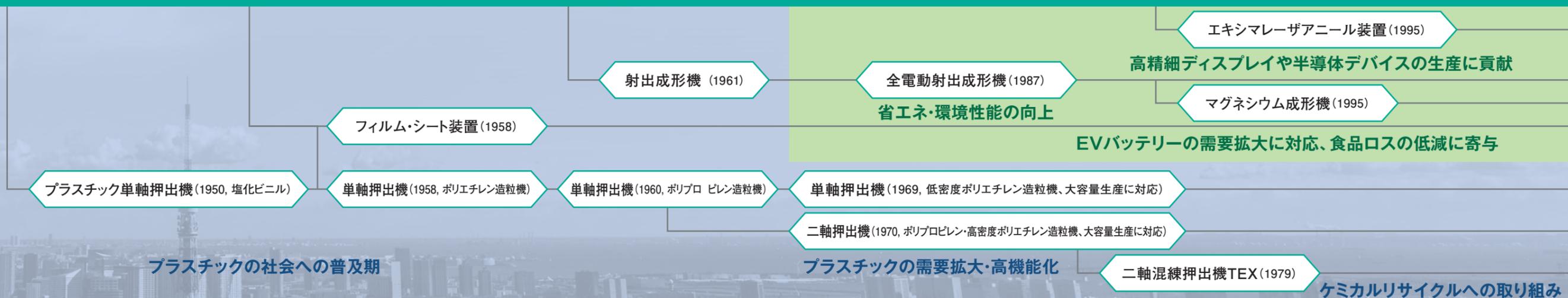


■日本製鋼所の技術と製品の系譜



JSW 創業 (1907)

機械要素・精密制御技術、素材開発・製造(溶かす・混ぜる・固める)技術



人と社会と自然が共生する緑の地球を次の世代へ引き継ぐために

ENVIRONMENT プラスチック資源循環社会の実現

省エネ社会を支え、CO₂排出量削減に貢献するプラスチック

プラスチックは、その特長を利用すると社会・環境問題の解決に有用であることから、現代社会になくはならない素材といわれています。2040年には世界のプラスチックの使用量は現在の約2倍の8億t、2060年には12億tに増えるとの予測もあります。

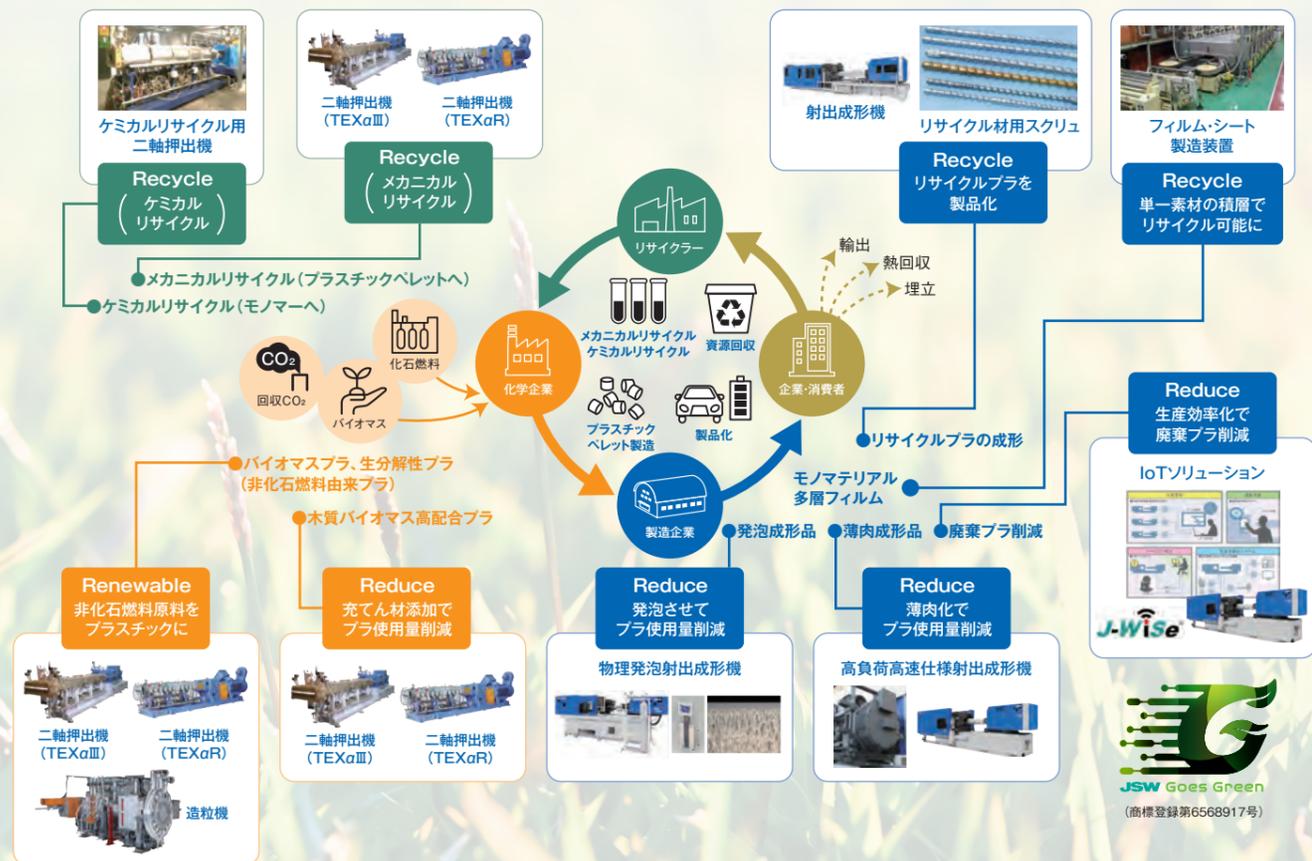
軽さ プラスチックは他の素材に比べると軽い素材です。包装資材の軽量化や自動車の燃費向上に貢献し、物流におけるCO ₂ 排出量の削減に寄与しています。	ガスバリア性 プラスチック製の食品包装は、食品を空気や水蒸気から遮断し、貯蔵寿命が延びることからフードロス低減につながります。
少ないエネルギーで形にできる プラスチックは加熱すると柔らかくなります。この状態で金属製の型の中に流し込むと、最終的な形に成形することができ、加工エネルギーを削減できます。	断熱性 プラスチック製のサッシはアルミ製の2.6倍の断熱性能があります。建物の断熱性能が高まることで、季節を問わず快適に過ごすことができます。
再生可能エネルギー普及への貢献 太陽光発電パネルや風力発電の風車の羽根の効率的な生産にプラスチックは欠かせません。	絶縁性 EVの心臓部であるリチウムイオン電池にも電池の正極と負極を隔離する電気絶縁性があるプラスチックフィルムが使われています。

社会・環境問題としてのプラスチック

プラスチックの大量生産・大量消費・大量廃棄を前提とするリアエコノミー（線形経済）では、資源（化石燃料）の枯渇、プラスチックの製造・廃棄時のエネルギー消費、投棄され海洋に流出したプラスチックが海生動物を傷つけるなどさまざまな問題を引き起こしています。その問題のソリューションが豊かな生活、環境負荷低減、経済成長の調和を保つサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現です。循環が根づくことで、投棄されるプラスチックも大幅に減少すると期待されます。

プラスチック資源循環社会の実現に向けた当社の取り組み

当社グループは、マテリアリティの筆頭に「プラスチック資源循環社会の実現」を掲げています。プラスチック原材料を製造する造粒機や二軸混練押出機、原材料をフィルム、自動車部品、ボトルなどの製品にするフィルム・シート製造装置、射出成形機、および中空成形機、さらに、プラスチックをリサイクルするための二軸混練押出機など、プラスチック資源循環の中で、資源回収を除いたすべての段階で各種のプラスチック加工機械を提供できるのは、当社グループの強みであり、責務だと認識しています。



SOCIETY 事業活動に不可欠な「人」を尊重し、最大限に活かす

多様な人材が力を発揮するための働きやすい環境整備

当社では、ハラスメント防止活動や安全衛生活動に注力し、社内外の相談窓口を設置するなどしています。ハラスメント対策委員会による解決プロセスの整備も行っています。また、ワーク・ライフ・バランスにつながる制度整備を進め、多様な人材が働きやすい環境を整え、等しく活躍の機会を得られるよう、従業員へのアンケートなどを実施しています。



事業活動のベースにあるのは地域社会とのより良い関係

当社グループは、企業も社会の一員であり、地域をはじめとするさまざまなコミュニティとともに発展していく存在であると考えています。当社グループは、事業を通じて社会に貢献するとともに、より良い社会の実現、地域社会に根差した企業を目指して、社会的責任を重視した活動にも取り組んでいます。



職業体験



ひろしま技能フェアへの協賛・出展

あくなき品質へのこだわりで期待を超える製品・サービスを提供

当社の強みである製造体制に必須な現場レベルでの技術・技能の維持向上を図るため、「技能道場」(広島製作所)、「はがね塾」(日本製鋼所M&E 室蘭製作所)といった社内研修の場を設け、長年培ってきた各種のノウハウを、先輩から若手へと受け継いでいます。



工場見学



ネーミングライツ契約

産業機械事業

樹脂製造・加工機械

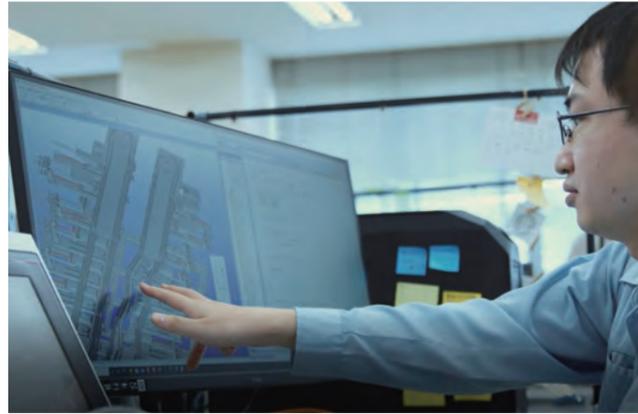
- 造粒機
- 二軸混練押出機
- フィルム・シート製造装置
- 紡糸用押出機

成形機

- プラスチック射出成形機
- マグネシウム射出成形機
- 中空成形機

その他産業機械

- エキシマレーザーアニール装置
- ラミネーター
- 成膜装置
- 防衛関連機器
- 鉄道製品
- 食品用押出機
- 発馬機



素形材・エンジニアリング事業

素形材

- 原子炉圧力容器・蒸気発生器部材
- 発電用ローターシャフト
- タービンケーシング
- 製鉄用圧延ロール
- 圧延機・鍛造設備部材
- クラッド鋼板

エンジニアリング

- プラント・インフラ鋼構造物の設計、製造および工事
- 各種非破壊検査、分析検査サービス
- 水素蓄圧器、水素吸蔵合金タンク



新規事業

- フォトニクス
- 複合材料
- 金属材料

東京

日鋼YPK商事株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー10階
TEL:(03)5745-2131

- 鉄鋼製品、成形・樹脂機械、半導体製造装置等の販売

ニッコー厚産株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー23階
TEL:(03)5745-2130

- 業務請負、人材派遣業、旅行業

日鋼特機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー10階
TEL:(03)5745-2093

- 防衛関連機器等の整備、部品の販売

広島

日鋼設計株式会社

〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南1-6-1
TEL:(082)822-7653

- 機械製品の設計・製図等

日鋼テクノ株式会社

〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南1-6-1
TEL:(082)822-3232

- 鉄・非鉄金属素材・特殊合金素材の機械加工・熱処理加工・溶接・製缶・仕上・組立および加工品の製造・販売

株式会社ニップラ

〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南1-6-1
TEL:(082)847-5510

- 射出成形機を中心とした機械および器具の据付、修理およびメンテナンスサービス

エムジープレジジョン株式会社

〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南1-6-1 (株)日本製鋼所構内
TEL:(082)822-1305

- 射出成形機により生成する金属成形品の設計・製造・販売

株式会社サン・テクトロ

〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南1-6-1
TEL:(082)824-3881

- 射出成形機、樹脂機械等産業機械用電装品の設計・製造・販売

株式会社ジャスト

〒734-0052 広島県広島市南区堀越3-2-1
TEL:(082)820-0123

- 各種産業機械・電気器具および部品等の販売・修理・サービス

横浜

日鋼工機株式会社

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-2-1
TEL:(045)701-7841

- 産業機械等の製作・設計・組立等

JSWアクティナシステム株式会社

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-2-1
TEL:045-787-8463(管理部)、045-787-8462(営業部)

- 電子デバイス関連機器の製造・販売・メンテナンス事業

JSWアプティ株式会社

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-2-1
TEL:(045)787-7203

- 半導体製造装置等の開発・製造・販売

株式会社ジーエムエンジニアリング

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目14-27
新横浜第一ビルディング
TEL:(045)472-6819

- プラスチック押出成形機の製造・販売

その他

株式会社タハラ

〒270-1369 千葉県印西市鹿黒南2-1
TEL:(0476)21-1991

- 中空成形機の製造・販売

室蘭

日本製鋼所M&E株式会社

〒051-8505 北海道室蘭市茶津町4番地
TEL:(0143)22-0143

- 素形材・エンジニアリング製品の製造・販売

日鋼運輸株式会社

〒051-8505 北海道室蘭市茶津町4-1
TEL:(0143)22-7923

- 一般港湾運送業、通運事業、一般貨物自動車運送事業

日鋼室蘭サービス株式会社

〒051-8505 北海道室蘭市茶津町4番地
TEL:(0143)24-2553

- 各種業務請負他

室蘭環境プラントサービス株式会社

〒050-0087 北海道室蘭市仲町14番地7 JESCO 3F
TEL:(0143)22-0005

- ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理施設の運転・保守・点検

ファインクリスタル株式会社

051-8505 北海道室蘭市茶津町9番地1
〒TEL:(0143)22-7401

- 人工水晶等とそれら加工品の製造・販売

- 樹脂機械事業 ■ 成形機事業 ■ 産業機械事業
- 防衛関係事業 ■ 素形材・エンジニアリング事業 ■ 新規事業

AFFILIATES 拠点一覧

国内

■本社
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウエストタワー
TEL:03-5745-2001(大代表)/FAX:03-5745-2025

■製造拠点
広島製作所
〒736-8602 広島県広島市安芸区船越南1-6-1
TEL:082-822-3181/FAX:082-285-2038

横浜製作所
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦2-2-1
TEL:045-781-1111/FAX:045-787-7200

名機製作所
〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL:0562-48-2111/FAX:0562-47-2316

室蘭製作所(日本製鋼所M&E株式会社)
〒051-8505 北海道室蘭市茶津町4番地
TEL:0143-22-0143/FAX:0143-24-3440

■営業拠点
東北営業所
〒984-0030 宮城県仙台市若林区荒井東1-4-11
TEL:022-706-2428/FAX:022-706-2430
●成形機事業

関東営業所
〒336-0967 埼玉県さいたま市緑区美園4-13-10
TEL:048-812-2515/FAX:048-812-2516
●成形機事業

府中出張所
〒183-0053 東京都府中市天神町1-1-1
TEL:042-354-6337/FAX:042-365-3887
●成形機事業

浜松出張所
〒435-0045 静岡県浜松市中区細島町6-1
TEL:053-463-4955/FAX:053-463-4925
●成形機事業

中部営業所/名古屋営業所
〒451-0051 愛知県名古屋市西区則武新町3-1-17
BIZrium名古屋4階(AEON MALL NagoyaNoritake Garden内)
TEL:052-564-3567/FAX:052-564-3568
●樹脂機械事業 ●成形機事業

西日本営業所
〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-11-7 信濃橋三井ビル
TEL:06-6446-2480/FAX:06-6446-2488
●樹脂機械事業 ●素形材・エンジニアリング事業

関西営業所
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町4-5
TEL:06-6384-3761/FAX:06-6386-1361
●成形機事業

中国営業所
〒736-8602 広島県広島市安芸区船越南1-6-1
TEL:082-822-0991/FAX:082-822-0997
●成形機事業

九州営業所
〒816-0872 福岡県春日市桜ヶ丘1-23-2
TEL:092-582-8121/FAX:092-582-8124
●成形機事業



海外

■北米
Japan Steel Works America, Inc./Headquarters
1251 Avenue of the Americas, Suite 2390, New York, NY 10020, U.S.A.
TEL:+1-212-490-2630
●樹脂機械事業 ●成形機事業 ●素形材・エンジニアリング事業

East Coast Technical Center
(New Jersey Technical Center)

■ヨーロッパ
Japan Steel Works Europe GmbH
Friedrichstr.19, 40217 Düsseldorf, Germany
TEL:+49-211-3116660
●樹脂機械事業 ●素形材・エンジニアリング事業

JSW Plastics Machinery Europe Sp. zo. o.
Graniczna10, 05-816 Reguly, Poland
●成形機事業

■東アジア
SM Platek Co., LTD.
687-2, Seonggok-dong, Ansan-si, Kyeonggi-do, Korea
TEL:+82-31-488-3401
●樹脂機械事業

JSW Machinery Trading (Shanghai) Co., Ltd.
中華人民共和国 上海市長寧区婁山関路555号 長房国際廣場301
TEL:+86-021-5206-7031
●樹脂機械事業 ●成形機事業

JSW Electromechanical Trading (Shanghai) Co., Ltd.
中華人民共和国 上海市長寧区婁山関路555号 長房国際廣場304
TEL:+86-021-5266-5155
●産業機械事業

JSW Plastics Machinery (H.K.) Co.Ltd.
ROOM 907, CORPORATION PARK, 11 ON LAI STREET, SHA TIN, N.T.
HONG KONG
TEL:+852-2648-0720
●成形機事業

JSW Plastics Machinery (Shenzhen) Co., Ltd.
中華人民共和国 広東省深圳市西麗街道阳光社区松白路1026号
南岗二工业园6栋厂房101
TEL:+86-755-8602-0930
●成形機事業

JSW Machinery (Ningbo) Co., Ltd.
中華人民共和国 浙江省寧波市海曙区石梁街道横漲村朱韓工業区1号
TEL:+86-0574-8823-6758
●成形機事業

JSW Plastics Machinery (Taiwan) Corp.
1F., No.21, DaHu 1st Road, Gueishan Dist., Taoyuan City,
33373 Taiwan, R.O.C.
TEL:+886-3-396-2102
●成形機事業 ●産業機械事業

■東南アジア
The Japan Steel Works (Singapore) Pte. Ltd.
17 Gul Lane, Singapore 629413
TEL:+65-6861-4511
●樹脂機械事業 ●成形機事業 ●産業機械事業 ●素形材・エンジニアリング事業

The Japan Steel Works (Thailand) Co., Ltd.
78/6 JST Building 4th Floor, Moo7, King Kaew Road, Rachatewa,
Bangplee, Samutprakarn 10540, Thailand
TEL:+66-2-738-5272
●樹脂機械事業 ●成形機事業 ●産業機械事業

PT. JSW Plastics Machinery Indonesia
Gajah Building Unit AP, Jl. Dr. Saharjo Raya No.111
Tebet Jakarta Selatan 12810, Indonesia
TEL:+62-21-8370-2536
●成形機事業

JSW Plastics Machinery (Philippines) Inc.
Unit 2205, 22nd floor, Asian Star Building, Asean Drive,
Filinvest Corporate City, Muntinlupa City, 1781 Metro Manila, Philippines
TEL:+63-2-8478-2533
●成形機事業

JSW Plastics Machinery (M) SDN. BHD.
D12-3A, Pusat Perdagangan Dana 1, Jalan PJJU 1A/46,
47301 Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
TEL:+60-3-7842-6076/6077
●成形機事業

JSW Plastics Machinery Vietnam Ltd.
Room103, Techno Centre, Thang Long Industrial Park,
Kim Chung Commune, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam
TEL:+84-24-3951-6381
●成形機事業

■南アジア
Japan Steel Works India Private Limited
611 Time Tower, MG Road, Sector 28, Gurgaon, Haryana 122002, India
TEL:+91-124-469-4444
●樹脂機械事業 ●成形機事業

■中南米
JSW Plastics Machinery Mexico S. de R.L. de C.V.
Avenida Mineral de Valenciana 202 A-1, Parque Industrial Santa Fe,
Silao De La Victoria, Guanajuato C.P. 36275, Mexico
TEL:+52-472748-9412
●成形機事業

HISTORY 沿革

1907 (明治40年) 北海道炭礦汽船(株)と英国アームストロング・ウィットウォース社(Sir W.G. Armstrong, Whitworth & Co., Ltd.)、ビッカーズ社(Vickers Sons and Maxim, Ltd.)の3社共同出資により設立。資本金1,000万円。本社および工場を北海道室蘭におく



1915 (大正4年) 本社を東京に移す

1920 (大正9年) (株)広島製作所(広島市外所在)を買収して広島製作所を設置



1935 (昭和10年) 横浜製作所を神奈川県金沢町に起工。昭和11年6月に竣工し操業開始



1938 (昭和13年) 東京製作所を東京都北多摩郡府中町に起工。昭和16年5月に竣工し操業開始

1950 (昭和25年) 商号を(株)旧日本製鋼所と変更のうえ解散し、新たに資本金2億円をもって(株)日本製鋼所を設立。旧会社から室蘭・広島・横浜・東京の4製作所および本店その他の営業所を継承して新発足

プラスチック加工機械分野へ進出。押出機第1号を製造



1961 (昭和36年) 射出成形機の技術提携、国産第1号機を製造



1963 (昭和38年) 西ドイツより中空成形機の技術導入

1969 (昭和44年) ニューヨーク、デュッセルドルフ、テヘランに事務所設置

1975 (昭和50年) ロサンゼルス、ヒューストン、シンガポールに事務所設置

1978 (昭和53年) 米国現地法人 Japan Steel Works America, Inc.を設立

1979 (昭和54年) コンパウンド用二軸押出機TEXを上市



1983 (昭和58年) 横浜製作所を移転して操業開始。北京事務所設置。デミング賞実施賞を受ける

1987 (昭和62年) 情報システム事業へ進出。電動射出成形機を上市



1988 (昭和63年) 人工水晶・応用製品の製造、販売を行う株式会社ファインクリスタルを設立

1990 (平成2年) 米国現地法人 JSW Plastics Machinery, Inc. を設立

1991 (平成3年) 広島製作所内に技術開発センター完成

1994 (平成6年) ISO 9001・9002の認証を取得

1995 (平成7年) マグネシウム射出成形機の1号機を上市



1995 (平成7年) エキシマレーザーアニール装置1台目を上市



1997 (平成9年) 香港現地法人 JSW Plastics Machinery (H.K.) Co., Ltd. を設立

1998 (平成10年) ISO 14001の認証を取得

2000 (平成12年) 台湾現地法人 JSW Plastics Machinery (Taiwan) Corp. を設立

2002 (平成14年) 当社製MH貯蔵システム/高圧水素圧縮機使用の水素ステーション竣工

2003 (平成15年) 中国現地法人 JSW Plastics Machinery (C) Corp. を設立

2005 (平成17年) 上海事務所設置

2007 (平成19年) 創立100周年を迎える。本社を東京大崎に移転



2009 (平成21年) インド現地法人 Japan Steel Works (INDIA) Private Limited を設立

2010 (平成22年) 中国現地法人 寧波日鋼機械製造有限公司を設立

技能伝承の取り組みのため室蘭「はがね塾」、広島「技能道場」を開設



2011 (平成23年) 射出成形機事業50周年を迎える



2012 (平成24年) デュッセルドルフ事務所を現地法人化。Japan Steel Works Europe GmbHを設立

2013 (平成25年) 原子炉圧力容器、発電機用超大型一体化鋳鋼品が評価され、グローバルニッチトップ企業100選に選ばれる



2014 (平成26年) シンガポール現地法人 The Japan Steel Works (Singapore) Pte. Ltd. 設立。JSWアフティ(株)を設立。水素ステーション用蓄圧器を開発



2015 (平成27年) 韓国SM PLATEK社を子会社化

2016 (平成28年) (株)名機製作所を完全子会社化。横浜製作所80周年

2020 (令和2年) (株)名機製作所を吸収合併



素材形・エンジニアリング事業部門を分社化し、日本製鋼所M&E(株)を設立

広島製作所100周年

2021 (令和3年) フラットパネルディスプレイ部門を分社化し、JSWアクティナシステム(株)を設立

To be continued